抗原簡易キットの使用方法

|  |
| --- |
| ■　キットの保存　 　・キットは、直射日光を避け、１～30℃で保存してください。　　 ・幼児の手の届かない場所に保管してください。・反応カセットの入ったアルミ袋は、使用前まで開封しないでください。・キットやチューブの溶液は、皮膚への付着・目や口へ入らないよう注意してください。 |
| １　検査用品の準備中身* 綿棒
* チューブ 市町村から配布
* 滴下チップ（キャップ）
* 検査キット

・キットを冷蔵保存していた場合、使用前に室温（20～37℃）に戻したあと、袋から取り出してください。・キットは極めて燃焼性が高いため、火気の近くでは使用しないでください。* 手袋（可能な限り着用）
* ゴミ袋　　　　　　　　　　　　　　　　各家庭で準備
* タイマー
 |
| ２　検体採取**綿棒　　チューブ 滴下ﾁｯﾌﾟ　　検査キット****（ｷｬｯﾌﾟ）　　（反応ｶｾｯﾄ）**　　綿棒を用いて、鼻腔ぬぐい液を採取します。　　①綿棒を鼻孔入り口から2cm程度、粘膜部分をぬぐうようにしてゆっくり挿入します。　↓　　②綿棒を５回程度ゆっくり回転させます。　　　　↓　　③５秒程度静置し、綿球を十分湿らせた後、そっと引き抜きます。 |
| ３　検体の抽出綿棒を入れて10回程度回転1. チューブの蓋(シール)を、中の液がこぼれないよう注意しながら　はがし、綿棒をチューブに浸します。

　　　　↓1. チューブの周りから綿球をはさみ、もみながら

　　綿棒を10回程度回転させます。キャップをはめてから5分間待つ　　　　↓1. 綿球から液をしぼり出しながら、綿棒を取り出します。

綿棒はゴミ袋に処分します。　 　　↓1. 滴下チップ（キャップ）をチューブにはめ込み、横にして、

５分静置します（タイマーなどで時間をはかってください）。４　２滴たらす1. ５分経ったら、滴下チップ（キャップ）を付けたまま逆さにし、チューブを軽く押し、

液をキットの紫色の検体滴下部に２滴たらします。２滴たらす最初に泡が出る場合は1滴ゴミ袋に捨ててから行ってください。キットとキャップの先端を1cm以上離してたらしてください。　　　　↓　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ②オレンジ色のボタン（凸部）を上からすぐに！押し込み、凹ませます。（すぐに押し込まないと反応しません。）押し込む |
| ５　反応30分間待ちます。　　（タイマーなどで時間をはかってください。） |
| ６　判定○陽性　　　：　ｒとTの両方に青色のラインが出現した場合○陰性　　　：　ｒに青色のラインが出現し、Tに何もラインが出現しなかった場合○再検査 ：　ｒに青色のラインが出現しなかったり、反応前のピンク色ラインのままの場合、反応が正常に行われなかった可能性があります（判定不能）。キットがもう一つある場合は、検査方法を再確認の上、もう一度検査をお願いします。　 |
| ■　参考資料　　 検体採取や検査の方法は、メーカーのホームページに動画で掲載されていますので、御確認の上実施してください。　　　【富士レビオ（株）】<https://www.fujirebio.co.jp/products/espline/sars-cov-2/index.html> |